

II 業種別鉄工業生産及び生産者製品在庫の動き（表3、表4）

1. 鉄鋼業

2年の県内鉄鋼業の生産指数は111.1で、対前年比2.4%と4年連続して増加した。これは鉄鋼品等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期108.1（対前期比3.3%減）、4～6月期109.3（同1.1%増）、7～9月期は114.9（同5.1%増）、10～12月期は112.4（同2.2%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は112.3で、対前年比15.1%と2年連続増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は117.1（対前期比13.1%増）、4～6月期は118.1（同0.9%増）と元年7～9月期から4期連続増加し、7～9月期111.5（同5.6%減）、10～12月期103.0（同7.6%減）と2期連続して減少した。

2. 非鉄金属工業

2年の県内非鉄金属工業の生産指数は129.6で、対前年比6.9%と8年連続して増加した。これは、通信ケーブル等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期128.8（対前期比3.9%増）、4～6月期132.0（同2.5%増）、7～9月期125.6（同4.8%減）、10～12月期131.7（同4.9%増）と、増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は87.8で、対前年比7.7%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期83.9（対前期比5.0%増）、4～6月期94.4（同12.5%増）と2期連続して増加し、7～9月期は92.8（同1.7%減）、10～12月期は81.2（同12.5%減）と2期連続減少した。

3. 金属製品工業

2年の県内金属製品工業の生産指数は104.6で、対前年比△25.1%と減少した。これは、アルミニウムサッシ等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期105.3（対前期比20.5%減）、4～6月期109.0（同3.5%増）、7～9月期105.6（同3.1%減）、10～12月期は98.9（同6.3%減）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は99.0で、対前年比6.2%と2年連続増加した。これを四半期別にみると、1～3月期94.0（対前期比13.5%減）と減少し、4～6月期96.4（同2.5%増）、7～9月期102.0（同5.8%増）、10～12月期105.2（同3.1%増）と3期連続して増加した。

4. 機械工業

2年の県内機械工業の生産指数は、114.2で対前年比0%と同じであった。また、在庫指数は、一般機械工業が増加したため、前年比6.0%と増加し、指数は121.8となった。

4-1 一般機械工業

2年の県内一般機械工業の生産指数は132.4で、対前年比△3.1%減少した。これは、化学機械等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期137.9（対前期比0.3%減）、4～6月期134.5（同2.5%減）、7～9月期133.5（同0.7%減）、10～12月期は124.2（同7.0%減）と5期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は153.7で、対前年比24.7%と2年連続増加した。これを四半期別にみると、1～3月期144.6（対前期比4.6%増）、4～6月期157.9（同9.2%増）と元年10～12月期から3期連続して増加し、7～9月期は157.4（同0.3%減）、10～12月期は156.3（同0.7%減）と2期連続減少した。

4-2 電気機械工業

2年の県内電気機械工業の生産指数は103.7で、対前年比8.8%と増加した。これは、電磁クラッチ、操作検出スイッチ等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期96.3（対前期比0.8%増）、4～6月期101.7（同5.6%増）、7～9月期106.0（同4.2%増）、10～12月期110.5（同4.2%増）と4期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は73.0で、対前年比△18.8%と減少した。これを四半期別にみると、1～3月期94.6（対前期比1.5%増）と元年10～12月期から2期連続して増加し、4～6月期88.7（同6.2%減）、7～9月期62.5（同2

9. 5%減)、10~12月期46.5(同25.6%減)と3期連続減少した。

4-3 輸送機械工業

2年の県内輸送機械工業の生産指数は113.2で、対前年比△2.8%と減少した。四半期別に推移をみると、1~3月期107.8(対前期比7.8%減)と元年10~12月期から2期連続減少し、4~6月期109.0(同1.1%増)、7~9月期124.6(同14.3%増)、10~12月期114.4(同8.2%減)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は151.3で、対前年比5.0%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期121.9(対前期比41.1%減)と減少し、4~6月期132.9(同9.0%増)、7~9月期161.0(同21.1%増)、10~12月期191.0(同18.6%増)と3期連続して増加した。

5. 窯業・土石製品工業

2年の県内窯業・土石製品工業の生産指数は106.0で、対前年比1.1%と4年連続して増加した。これは、ファインセラミックス等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期106.3(対前期比1.7%増)、4~6月期107.2(同0.8%増)と2期連続増加し、7~9月期106.5(同0.7%減)、10~12月期104.2(同2.2%減)と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は112.5で、対前年比12.6%と2年連続増加した。これを四半期別にみると1~3月期107.7(対前期比5.2%増)、4~6月期107.9(同0.2%増)、7~9月期113.8(同5.5%増)、10~12月期121.1(同6.4%増)と6期連続して増加した。

6. 化学工業

2年の県内化学工業の生産指数は122.5で、対前年比3.1%と10年連続して増加した。これは、ポリスチレン、ポリエチレン等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期113.9(対前期比4.1%減)と3期連続減少し、4~6月期127.0(同11.5%増)、7~9月期124.2(同2.2%減)、10~12月期124.7(同0.4%増)と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は108.0で、対前年比4.0%と2年連続増加した。これを四半期別にみると、1~3月期107.0(対前期比6.5%減)、4~6月期105.8(同1.1%減)と2期連続減少し、7~9月期108.1(同2.2%増)、10~12月期110.9(同2.6%増)と2期連続して増加した。

7. 石油・石炭製品工業

2年の県内石油・石炭製品工業の生産指数は110.2で、対前年比11.3%と3年連続して増加した。これは、揮発油、軽油等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期105.3(対前期比3.3%減)と減少し4~6月期106.2(同0.9%増)、7~9月期109.8(同3.4%増)、10~12月期121.4(同10.6%増)と3期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は118.0で、対前年比7.8%と3年連続して増加した。これを四半期別にみると、1~3月期116.9(対前期比5.6%増)と2期連続して増加し、4~6月期114.6(同2.0%減)、7~9月期103.8(同9.4%減)、10~12月期136.9(同31.9%増)と増減を繰り返した。

8. プラスチック製品工業

2年の県内プラスチック製品工業の生産指数は111.2で、対前年比△0.4%と減少した。四半期別に推移をみると、1~3月期110.8(対前期比2.5%減)、4~6月期103.2(同6.9%減)と3期連続減少し、7~9月期114.5(同10.9%増)、10~12月期116.1(同1.4%増)と2期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は57.4で、対前年比1.9%と増加した。これを四半期別にみると、1~3月期60.4(対前期比3.4%増)、4~6月期53.4(同11.6%減)、7~9月期58.8(同10.1%増)、10~12月期56.7(同3.8%減)と増減を繰り返した。

9. パルプ・紙・紙加工品工業

2年の県内パルプ・紙・紙加工品工業の生産指数は92.9で、対前年比△4.2%と減少した。四半期別に推移をみると、1～3月期88.8（対前期比9.6%減）、4～6月期94.6（同6.5%増）、7～9月期84.4（同10.8減）、10～12月期101.9（同20.7%増）と増減を繰り返した。

一方、在庫指数の年平均は277.4で、対前年比58.2%と2年連続増加した。これを、四半期別にみると1～3月期318.5（対前期比21.9%増）、4～6月期332.9（同4.5%増）と5期連続増加し、7～9月期236.7（同28.9%減）、10～12月期229.4（同3.1%減）と2期連続減少した。

10. 繊維工業

2年の県内繊維工業の生産指数は99.0で、対前年比△3.8%と3年連続して減少した。四半期別にみると、1～3月期97.6（対前期比1.9%減）と2期連続減少し、4～6月期98.1（同0.5%増）、7～9月期99.1（同1.0%増）、10～12月期101.1（同2.0%増）と3期連続増加した。

一方、在庫指数の年平均は96.8で、対前年比1.2%と3年連続して増加した。これを、四半期別にみると1～3月期96.0（対前期比4.7%減）、4～6月期99.3（同3.4%増）、7～9月期93.6（同5.7%減）、10～12月期98.3（同5.0%増）と増減を繰り返した。

11. 食料品工業

2年の県内食料品工業の生産指数は90.7で、対前年比△3.6%と3年連続して減少した。これは、精麦、イノシン酸ソーダ等が減少したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期93.2（対前期比3.0%増）と増加し、4～6月期91.8（同1.5%減）、7～9月期89.5（同2.5%減）、10～12月期88.9%（同0.1%減）と3期連続して減少した。

一方、在庫指数の年平均は94.4で、対前年比△4.7%と3年連続して減少した。これを四半期別にみると、1～3月期94.8（対前期比2.9%増）、4～6月期98.4（同3.8%増）と2期連続して増加し、7～9月期91.6（同6.9%減）、10～12月期92.9（同1.4%増）と増減を繰り返した。

12. その他工業

2年の県内その他工業の生産指数は102.5で、対前年比1.2%と4年連続して増加した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業6.7%、家具工業△10.5%、木材・木製品工業△6.0%、その他製品工業△2.5%であった。四半期別に推移をみると、1～3月期102.7（対前期比0.7%増）、4～6月期103.5（同0.8%増）と2期連続増加し、7～9月期103.0（同0.5%減）、10～12月期94.5（同0.8%減）と2期連続減少した。

一方、在庫指数の年平均は114.3で、対前年比15.3%と増加した。各業種の対前年比をみると、ゴム製品工業が14.6%、家具工業43.8%、木材・木製品工業10.9%とそれぞれ増加した。これを四半期別にみると、1～3月期108.3（対前期比6.1%増）、4～6月期117.3（同8.3%増）と5期連続増加し、7～9月期113.2（同3.1%減）、10～12月期118.8（同4.9%増）と増減を繰り返した。

13. 鉱業

2年の県内鉱業生産指数は129.3で、対前年比1.9%と5年連続して増加した。これは、石灰石、天然けい砂等が増加したためである。四半期別に推移をみると、1～3月期125.2（対前期比12.3%減）と減少し、4～6月期129.7（同3.4%増）、7～9月期130.6（同0.7%増）、10～12月期132.3（同1.3%増）と3期連続して増加した。

一方、在庫指数の年平均は86.7で、対前年比30.3%と増加した。これを四半期別にみると、1～3月期86.9（対前期比15.7%増）、4～6月期87.3（同0.5%増）と3期連続増加し、7～9月期82.6（同5.4%減）、10～12月期は90.2（同9.2%増）と増減を繰り返した。

14. 公益事業 (参考)

2年の県内公益事業の生産指数は310.5で、対前年比52.7%と増加した。これは、電力、ガスともに増加したためである。四半期別に推移をみると、1~3月期256.8 (対前期比40.6%増)、4~6月期277.5 (同8.1%増)、7~9月期337.6 (同21.7%増)、10~12月期368.0 (同9.0%増)と5期連続増加した。

表3 業種別鉱工業生産指数増減率

昭和60年=100

| | 対前年増減率 (%) | | | | 2年四半期別・対前期増減率 (%) | | | |
|--------------|------------|--------|-------|--------|-------------------|-------|--------|---------|
| | 62年 | 63年 | 元年 | 2年 | 1~3月期 | 4~6月期 | 7~9月期 | 10~12月期 |
| 鉱工業 | 1.3 | 3.6 | 6.1 | △ 0.1 | △ 2.6 | 2.7 | 2.3 | △ 1.0 |
| 製造工業 | 1.3 | 3.6 | 6.1 | △ 0.1 | △ 2.6 | 2.7 | 2.4 | △ 1.1 |
| 鉄鋼業 | 9.4 | 6.7 | 1.8 | 2.4 | △ 3.3 | 1.1 | 5.1 | △ 2.2 |
| 非鉄金属工業 | 1.5 | 4.8 | 7.8 | 6.9 | 3.9 | 2.5 | △ 4.8 | 4.9 |
| 金属製品工業 | 13.4 | 11.5 | 8.9 | △ 25.1 | △ 20.5 | 3.5 | △ 3.1 | △ 6.3 |
| 機械工業 | △ 1.9 | 5.8 | 7.4 | 0.0 | △ 2.6 | 1.2 | 7.8 | △ 3.7 |
| 一般機械工業 | 7.8 | 14.4 | 14.5 | △ 3.1 | △ 0.3 | △ 2.5 | △ 0.7 | △ 7.0 |
| 電気機械工業 | 5.1 | △ 1.7 | △ 7.0 | 8.8 | 0.8 | 5.6 | 4.2 | 4.2 |
| 輸送機械工業 | △ 9.0 | 6.8 | 12.5 | △ 2.8 | △ 7.8 | 1.1 | 14.3 | △ 8.2 |
| 窯業・土石製品工業 | 4.2 | 1.2 | 3.4 | 1.1 | 1.7 | 0.8 | △ 0.7 | △ 2.2 |
| 化学工業 | 4.3 | 2.6 | 10.2 | 3.1 | △ 4.1 | 11.5 | △ 2.2 | 0.4 |
| 石油・石炭製品工業 | △ 4.3 | 3.9 | 1.4 | 11.3 | △ 3.3 | 0.9 | 3.4 | 10.6 |
| プラスチック製品工業 | △ 4.2 | 4.9 | 15.5 | △ 0.4 | △ 2.5 | 6.9 | 10.9 | 1.4 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 6.5 | △ 17.4 | 8.2 | △ 4.2 | △ 9.6 | 6.5 | △ 10.8 | 20.7 |
| 繊維工業 | 7.2 | △ 2.3 | △ 0.9 | △ 3.8 | △ 1.9 | 0.5 | 1.0 | 2.0 |
| 食料品工業 | 1.8 | △ 3.4 | △ 1.5 | △ 3.6 | 3.0 | △ 1.5 | △ 2.5 | △ 0.1 |
| その他工業 | 2.8 | 1.6 | 1.1 | 1.2 | 0.7 | 0.8 | △ 0.5 | △ 0.8 |
| 鉱業 | 0.8 | 14.2 | 5.4 | 1.9 | △ 12.3 | 3.4 | 0.7 | 1.3 |
| 非金属鉱業 | 0.8 | 14.2 | 5.4 | 1.9 | △ 12.3 | 3.4 | 0.7 | 1.3 |
| 公益事業 | 3.3 | 55.7 | 13.2 | 52.7 | 40.6 | 8.1 | 21.7 | 9.0 |
| 産業総合 | 1.4 | 5.3 | 6.4 | 2.7 | △ 1.3 | 2.8 | 4.9 | △ 1.0 |

表4 業種別鉱工業生産者製品在庫指数増減率

昭和60年=100

| | 対前年増減率(%) | | | | 元年四半期別・対前期増減率(%) | | | |
|--------------|-----------|--------|--------|--------|------------------|--------|--------|---------|
| | 62年 | 63年 | 元年 | 2年 | 1~3月期 | 4~6月期 | 7~9月期 | 10~12月期 |
| 鉱工業 | △ 6.7 | △ 4.7 | 11.7 | 7.4 | △ 2.7 | 1.9 | △ 2.1 | 4.4 |
| 製造工業 | △ 6.7 | △ 4.7 | 11.7 | 7.4 | △ 2.6 | 1.9 | △ 2.0 | 4.2 |
| 鉄鋼業 | △ 5.4 | △ 13.0 | 6.7 | 15.1 | 13.1 | 0.9 | △ 5.6 | △ 7.6 |
| 非鉄金属工業 | △ 14.6 | △ 7.8 | △ 8.3 | 7.7 | 5.0 | 12.5 | △ 1.7 | △ 12.5 |
| 金属製品工業 | △ 6.0 | △ 11.3 | 12.6 | 6.2 | △ 13.5 | 2.6 | 5.8 | 3.1 |
| 機械工業 | △ 3.0 | △ 17.3 | 28.6 | 6.0 | △ 12.1 | 7.3 | △ 4.7 | △ 0.3 |
| 一般機械工業 | 4.7 | △ 0.5 | 15.1 | 24.7 | 4.6 | 9.2 | △ 0.3 | △ 0.7 |
| 電気機械工業 | △ 13.7 | △ 16.6 | 18.0 | △ 18.8 | 1.5 | △ 6.2 | △ 29.5 | △ 25.6 |
| 輸送機械工業 | 1.4 | △ 41.2 | 77.6 | 5.0 | △ 41.1 | 9.0 | 21.1 | 18.6 |
| 窯業・土石製品工業 | △ 7.6 | △ 4.8 | 0.4 | 12.6 | 5.2 | 0.2 | 5.5 | 6.4 |
| 化学工業 | △ 8.1 | △ 0.1 | 16.8 | 4.0 | △ 6.5 | △ 1.1 | 2.2 | 2.6 |
| 石油・石炭製品工業 | △ 4.1 | 7.0 | 0.4 | 7.8 | 5.6 | △ 2.0 | △ 9.4 | 31.9 |
| プラスチック製品工業 | △ 18.7 | △ 26.0 | △ 4.1 | 1.9 | 3.4 | △ 11.6 | 10.1 | △ 3.6 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | △ 4.5 | △ 24.9 | 147.3 | 58.2 | 21.9 | 4.5 | △ 28.9 | △ 3.1 |
| 繊維工業 | △ 11.9 | 3.1 | 6.1 | 1.2 | △ 4.7 | 3.4 | △ 5.7 | 5.0 |
| 食料品工業 | 8.2 | △ 5.1 | △ 5.8 | △ 4.7 | 2.9 | 10.4 | △ 6.9 | 1.4 |
| その他工業 | 3.1 | △ 2.9 | △ 2.5 | 15.3 | 6.1 | 8.3 | △ 3.5 | 4.9 |
| 鉱業 | 3.6 | △ 16.2 | △ 16.0 | 30.3 | 15.7 | 0.5 | △ 5.4 | 9.2 |
| 非金属鉱業 | 3.6 | △ 16.2 | △ 16.0 | 30.3 | 15.7 | 0.5 | △ 5.4 | 9.2 |
| 公益事業 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 産業総合 | △ 6.7 | △ 4.7 | 11.7 | 7.4 | △ 2.7 | 1.9 | △ 2.1 | 4.4 |